

春も引き続き感染対策しましょう！

春は入園や入学、転居、就職、異動など新しい生活が始まる季節です。昼夜の寒暖差に加え、環境の変化で心身ともに疲れやすく、体調を崩しやすくなります。また、人と交流する機会も増え、感染症にかかるリスクも高くなるので、感染予防に心がけましょう！



春に流行しやすい感染症を紹介します！

A群溶連菌レンサ球菌感染症

- 【感染経路】飛沫感染・接触感染
- 【症状】咽頭痛・発熱・イチゴ舌
重症化し猩紅熱に移行することもある
→ 全身に発疹が広がること
- 【治療】抗生剤治療
- 【予防方法】基本的な感染対策が有効

伝染性紅斑（リンゴ病）



県内で流行中

- 【感染経路】飛沫感染・接触感染
- 【症状】微熱などの風邪症状
7～10日後に両頬に紅斑→体に発疹
- 【治療】対症療法
- 【予防方法】基本的な感染対策が有効

妊娠中または妊娠の可能性のある方は感染に注意

感染性胃腸炎

- 【感染経路】接触感染・経口感染
- 【症状】下痢・嘔吐・発熱・腹痛
- 【治療】対症療法
- 【予防方法】
流水・石けんによる手洗いが有効
嘔吐物の処理方法はQRコードをチェック



県北感染症公式
Instagram

風しん

- 【感染経路】飛沫感染 ※感染力は強い
- 【症状】発熱・発疹・リンパ節腫脹
- 【治療】対症療法
- 【予防方法】予防接種が有効
→約95%が免疫獲得

妊娠中または妊娠の可能性のある方や、妊婦の周りには感染に注意

麻しん

- 【感染経路】空気感染・飛沫感染・接触感染
※感染力は非常に強い
- 【症状】発熱・咳・鼻汁などの風邪症状
2～3日熱が続いた後に高熱・発疹
- 【治療】対症療法
- 【予防方法】予防接種が有効→約95%が免疫獲得

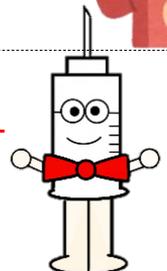


日本は平成27年に麻しん排除国に認定されていますが、海外からの輸入例と、輸入例からの感染事例が発生しているため、注意が必要です！



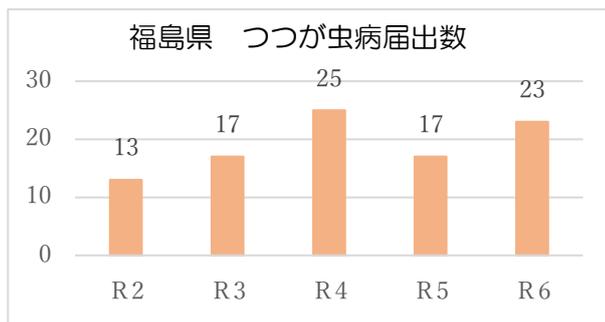
※基本的な感染対策は「手洗い・手指消毒・マスク着用・換気」です。

※入園・入学前に接種していない予防接種がないか確認しましょう！
予防接種は必ず必要回数を接種しましょう。



春季はつつが虫病にご注意!

福島県は、全国的にもつつが虫病の多発地域で、例年20名程度の患者が報告されています。特に山林や草むら、農耕地などに入る機会が多くなる、春季(3~6月)と秋季(9~11月)が患者発生ピークになります。



(参考: 福島県感染症発生動向調査)

つつが虫病とは

病原微生物(リケッチア)を保有するツツガムシ(ダニの一種)に刺された後、1~2週間後に発症する感染症です。人から人へ感染しません。

ツツガムシは、草むらなどに生息しており、肉眼ではほとんど見えないほど小さいため、衣服の隙間から入り込むことがあります。刺された時の痛みもほとんどないと言われています。



症状

主な症状は、発熱・発疹・刺し口・頭痛・倦怠感・肝機能障害などがあります。刺し口は、陰部・内股・脇の下・下腹部などの柔らかい場所に多く、周りが赤く盛り上がったかさぶたになります。

治療

抗生剤による治療を行います。

治療が遅れると重症化することもあるため、**早期発見・早期治療**が重要です。



予防方法

○山林や草むら、農耕地などに入る際には、長袖・長ズボン・長靴などを着用し、肌の露出をできるだけ少なくしましょう。

○ツツガムシに効果がある虫除けスプレーをこまめに使用しましょう。

○作業中に脱いだ上着・タオル・帽子などを草むらに放置しないようにしましょう。

○地面に寝転んだり、座り込んだりするときは、敷物を使用しましょう。

○作業後は、シャワーや入浴でツツガムシを洗い落とし、衣服を着替えましょう。



KENPOKU.KANSEN

感染症情報を
発信しています
ぜひ、フォロー
してください☆

発行日:令和7年3月10日

発行元:福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4108

ホームページ:検索キーワード

県北保健所

